

第1号議案

2024年度のまとめと2025年度のすすめかた

「生協10の基本ケア」^①を学び、実践し、 くらしの安心ネットワークをひろげよう！

はじめに

2024年度は、姫路医療生協創立50周年（創立：1974年8月1日）の節目の年でした。

創立50周年記念祝賀会を11月に開催し、84名の来賓をはじめ、組合員・職員合わせて計273名の参加で創立50周年をともにお祝いすることができました。また、創立50周年記念誌の発行や創立50周年記念プレ企画「姫路医療生協 学術運動交流集会」を開催しました。50周年記念事業を通じて、広く組合員・地域住民・行政・他団体に姫路医療生協のとりくみを発信し、多くの方にサービスをご利用いただくとともに、健康づくりや助け合い等の組合員活動への参加、法人内外との連携をひろげることができました。今後も組合員・職員・地域住民との協同、事業を通じた社会貢献、行政や他団体との顔の見える関係づくりを大切にしたい事業をすすめます。

私たちは、法人理念「その人らしく、気持ちよく生きる」の実現をめざし、高齢になっても、認知症になっても、障がいがあっても、住み慣れた自宅・地域で安心してくらし続けられるまちづくりー地域包括ケア^②を推進します。医療活動、介護活動、組合員活動、人づくりのすべての活動を「生協10の基本ケア」の視点（尊厳を護る・自立支援・在宅支援）を大切に、一体的な事業運営をすすめます。

2025年は国連が定めた国際協同組合年です。私たちは、2025国際協同組合年にふさわしい協同と連携をすすめ、誰一人取り残されない、平和で公正で持続可能な社会づくり（SDGs：持続可能な開発目標）に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1) 2024年度のまとめ

1. 介護と医療の連携強化・一体的サービス提供で、利用者を在宅で支える

①尊厳を護り、自立支援をすすめ、在宅サービスの限界点を高めました

○「かかりつけ医」^③機能と訪問診療、介護・医療連携を重視し、利用者が早期に「生活」の場に戻るしくみづくりと実践をすすめました。

○2024年度の診療報酬・介護報酬改定の対応をおこないました。リハビリ・口腔・栄養の一体的提供をすすめました。

○患者・利用者アンケートにとりくみました。

○共立病院に1名の常勤医師、共立歯科に2名の常勤歯科医師が着任されました。

○2024年度の事業収益は54億9,495万円（予算比100.3%、前年比102.5%）、経常利益は144万円（経常利益率0.0%）です。

○行政や他団体との“顔の見える関係づくり”をすすめました。



あぼしマルシェ

②環境変化に対応し、持続可能な事業への再構築、経営改善をすすめました

○赤字事業所の統廃合を含めた事業の再編をすすめました。統合による事業の大型化により、介護の人材不足に対応し、経営構造を改善しました。

2024年 4月1日 福祉用具レンタルなどを福祉用具レンタル共立に統合

6月末 ショートステイつどいの閉鎖

8月5日 共立病院通所リハビリテーション リニューアルオープン

11月1日 福祉介護センター太子（訪問看護ステーション太子・居宅介護支援事業所太子）を福祉介護センターあぼしに統合

定期巡回・随時対応サービスあぼし・ヘルパーステーションあぼしを、福祉用具レンタルあぼしの施設に移行し、福祉介護センターあぼし南を開設

2025年 2月末 訪問入浴サービス共立の閉鎖

○キャリアパス^④（介護職員対象）の本格的な運用開始、週休2日制度の導入、職員の処遇改善をすすめ、人材確保・離職防止をすすめました。

○営業セミナーを開催し、営業力のアップにつなげました。

○介護事業所にケアプランデータ連携システムを導入し、ICT（情報通信技術）の利活用水準を上げました。

- コンプライアンス^⑤強化をはかりました。

2. 地域組合員と職員組合員がともに学び、協同をひろげる

- ①「生協10の基本ケア」を組合員と職員の“合言葉”に、学び、協同をひろげました

- 地域ではブロックや支部で「生協10の基本ケア」の学習会がひろがり、職員は12月に「生協10の基本ケア」管理者研修を開催しました。
- 「生協10の基本ケア」推進プロジェクト会議は、組合員理事参加で開催しました。
- 理事研修会で「医療福祉生協の組合員参加のあり方提言」「生協10の基本ケア」を学び、深めました。

- ②教育体系を見直し、人財確保・育成を強化しました

- 「生協10の基本ケア」は、職員研修に組み込むとともに、トレーナーの育成を計画的にすすめました。
- 2023年4月からスタートした新入職員研修の改定、および介護事業所の新入職員教育チェックリストの定着をはかりました。
- 「心理的安全性」^⑥の学習会を開催し、誰もが安心して発言や行動ができる「心理的安全性のある職員場づくり」をすすめました。
- 管理者研修、リーダー育成研修、メンタルヘルス等の「従業員支援プログラム」研修を開催しました。

- ③組合員と職員がともに学び、協同をひろげました

- 10月に姫路医療生協創立50周年記念プレ企画「学術運動交流集会」を開催し、組合員・職員あわせて140名以上が参加し、「生協10の基本ケア」の実践が共有されました。
- 生協学校を開催し、グループワークも取り入れ大変好評でした。
- 通信教育は組合員25名、職員58名が受講しました。
- イチ押し班会メニューを充実させ、活用をひろげました。

3. 「楽しく、おいしく、オシャレ」な多彩な活動を地域にひろげる

①ゆるやかなつながりと社会参加を大切にし、“くらしの安心ネットワーク”をひろげました

○「生き活き広場」^⑦や生協マルシェ^⑧、ボッチャ^⑨、フードドライブ^⑩、禁煙ポスターコンクール、まちかど健康チェック、サークル活動、ひょうごまるごと健康チャレンジなどの多彩なイベントや健康づくりをひろげました。

○共立病院利用委員会と共立病院認知症グループ共催で共立病院「認知症サロン」を開催しました。



共立病院 認知症サロン

○事業利用委員会では、「キラリハート」^⑪やイベント開催、75歳以上の組合員のつながりづくりを重視するとともに、「生協10の基本ケア」の実践共有をおこないました。

○ニュース「ひめじ」は医療福祉生協連の機関紙コンクールで特別賞を受賞しました。地域サービス部、共立病院、共立歯科でSNSを活用した情報発信をおこないました。また、「地域サービス部LINEアカウント」をスタートさせました。ニュース配布ボランティアを増やすとりくみは、今後の課題です。

○秋の生協強化月間は、月間スタート企画の開催や「グランプリ2024月間杯」の設定など、楽しくとりくみました。

○仲間ふやしは784名（純増-254名）、出資金ふやしは44,551千円（純増-6,299千円）の到達です。事業所の組合員利用率は50.0%となり、50%以上を確保しました。

②持続可能な社会・平和な社会めざす活動をすすめました

○原水爆禁止世界大会へ代表3名の派遣をはじめ、平和バスツアー、平和行進、マイナ保険証学習会、自治体訪問、各種署名活動にとりくみました。

○「能登半島地震」「能登半島豪雨」災害支援募金にとりくみました。

○各事業所のBCP（事業継続計画）を重視しました。



平和バスツアー（鳴門市ドイツ館）

2) 2025年度のすすめかた

1. 介護と医療の連携強化・一体的サービス提供で、利用者を在宅で支えます

- ①利用者の尊厳を護り、自立支援をすすめ、在宅サービスの限界点を高めます。
 - 「生協10の基本ケア」を姫路医療生協のケアにおける基本理念として学び、実践します。
 - 「お断りしない」を周知し、困っている方に必ず手を差し伸べます。
 - 「かかりつけ医」機能と在宅支援、介護・医療連携を重視し、多くの組合員、地域住民に姫路医療生協のサービスをご利用いただきます。利用者満足度の向上をはかります。
 - リハビリ・口腔・栄養の一体的提供をすすめます。
 - 医師対策を強化し、常勤医師を確保します。
 - 行政や他団体との“顔の見える関係づくり”をさらに強めます。
- ②環境変化に対応し、持続可能な事業に向けた統廃合・再編、経営改善をすすめます
 - 2025年7月1日付で居宅介護支援事業所香寺を居宅介護支援事業所介護の窓口に統合（大型化）し、事業所も福祉介護センター花北から福祉介護センターすずかぜに移行します。
 - 営業活動を重視し、利用者増につなげます。
 - コンプライアンス強化、ICT（情報通信技術）化・タスクシフト（他職種への業務移行）、生産性向上の推進をはかります。ケアプランデータ連携システムの利活用をはかります。
 - 2025年度の事業収益は55億6,045万円（前年比101.2%）、経常利益は2,241万円（経常利益率0.4%）を実現します

2. 地域組合員と職員組合員が“ともに組合員”として学び、協同をひろげます

- ①「生協10の基本ケア」を組合員と職員の“合言葉”に、学び実践をひろげます
 - 地域や職場で「生協10の基本ケア」の多彩な学習会を開催します。
 - 「生協10の基本ケア」推進ニュースを発行します。
 - 法人の「生協10の基本ケア」キャラクターをつくり、活用します。
 - 法人独自で「生協10の基本ケア」トレーナー育成研修を開催し、30名のトレーナーを育成します。

②計画的な人材育成をすすめます

- 「人事評価制度」は、職員と法人の成長を目的に順次導入します。職員のモチベーションアップをはかり、育成を推進します。
- スタッフ同士の対話を促し、良好なコミュニケーションを基本とした「心理的安全性のある職場づくり」を推進します。
- 育成の原点である「美点凝視」(良いところを見つけて褒める)の視点を重視します。
- 年間計画に基づいた職員研修を推進します。

③組合員と職員がともに学び、協同をひろげます

- 生協学校を開催します。通信教育の活用をはかります。
- イチ押し班会メニューを充実させ、活用をひろげます。
- 第24回介護医療フォーラムは、「生協10の基本ケア実践交流会」として開催します。
- 兵庫民医連学術運動交流集会での演題発表を重視します。



姫路医療生協創立50周年記念ブレ企画
学術運動交流集会

3. 姫路医療生協の“くらしの安心ネットワーク”を地域にひろげます

①「つながり」「健康づくり」「助け合い」のあるまちづくりをすすめます

- 組合員と職員による地域訪問を位置づけ、75歳以上の組合員とのつながりづくりをひろげ、“元気な時から最期まで”姫路医療生協の活動参加、サービス利用を重視します。
- 地域に開かれた多彩な活動を組合員、職員が協同してひろげます。班会や健康講座、イベントには、まだ組合員になっていただいていない地域の方にもひろく参加を呼びかけます。
- エリアごとに認知症カフェやフレイル予防教室、生協マルシェ、家族会等のイベント開催の具体化をすすめます。事業利用委員会での議論を重視します。
- くらしの助け合いの会はなちゃん、事業所ボランティアの活性化をはかります。
- 組合員一人ひとりの「活躍の場」をつくる視点で、ニュース配布やボランティアなど「できることから手伝ってもらおう」ことで担い手づくりにつなげます。



ボッチャ



生き生き広場

- 仲間ふやし1,000名、出資金ふやし5,000万円をめざします。
- 全事業所が組合員利用率50%以上を実現します。
- 2025年4月から出資金証券及び出資通帳の発行を廃止しました。出資金は、組合員管理システムで厳格に管理します。

②平和で公正で持続可能な社会をめざします

- 日本被団協の継続した活動による「ノーベル平和賞」受賞に確信を持ち、核兵器廃絶と平和な社会をつくる運動をひろげます。
- 社会保障の拡充、気候危機問題やPFAS（有機フッ素化合物）などの環境問題にとりくみます。
- 原発ゼロの実現、再生可能エネルギーへの転換をめざします。
- 署名活動や学習会・平和ツアー等のイベント、平和行進、自治体訪問にとりくみます。
- 自然災害への備えと各事業所のBCP（事業継続計画）を重視します。

《語句の解説》

① 生協10の基本ケア

「尊厳を護る」「自立を支援」「在宅生活を支援」を大切にした生協ブランドの“ケアの基本理念”

② 地域包括ケア

医療、介護、生活支援・介護予防、住まいが地域の中で包括的に確保されるという考え方。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくり

③ かかりつけ医

医療・健康のことなら何でも相談できる身近な医師

④ キャリアパス

人財育成をすすめるために、仕事における道筋を示したもの

⑤ コンプライアンス

法令遵守、および社会規範を守ること

⑥ 心理的安全性

誰もが安心して発言や行動ができる組織の環境を指します。心理的安全性を育む因子として「話しやすさ」「助け合い」「挑戦」「新奇歓迎」を重視します。

⑦ 生き生き広場

健康寿命100歳をめざすフレイル予防講座&交流のイベント

⑧ 生協マルシェ

マルシェはフランス語で「市場」を意味します。“通い”と“つながり”の場としての楽しいイベント

⑨ ボッチャ

老若男女、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に楽しく競い合えるスポーツ

⑩ フードドライブ

食品ロスをなくすために、食べきれない食品を必要な人に届けるとりくみ

⑪ キラリハート

利用者様に喜ばれたイチ押し事例を各事業所がまとめ、組合員・職員の確信にし、ひろげるとりくみ

2025年度 各部門・事業所の理念と重点課題

《姫路医療生協の理念》

その人らしく、気持ちよく生きる

共立病院

《理 念》 病院に関わるすべての人が満足できるより良いサービスを提供し、地域から信頼される病院を目指します

《重点課題》

- 地域住民の在宅生活を支える病院として地域包括ケア病床の機能を医療活動の中心に位置づけます。
- 職業人としてあるべきふるまいを常に心がけ、すべての関係者が満足できるような職員の待遇対応を実現します。
- 地域の医療機関や介護事業所との連携をさらに向上させます。

ヘルスコープあぼし診療所

《理 念》 安心・安全の介護・医療連携で、利用者様へ満足度の高いサービスを提供します

《重点課題》

- 常勤医師を1名採用します。世代交代の計画的な対応をすすめます。
- “かかりつけ医”診療所としての環境整備をおこない、患者様・家族様に医療を提供します。
- 地域医療と介護が連携し、患者様の思いに沿った診療所の医療を提供します。
- 在宅医療管理件数70件を目指します。多職種連携でアドバンス・ケア・プランニングに基づく終末期医療に対応します。

共立歯科

《理 念》 口はいのちの入り口 健康の入り口

～生涯口から食べる楽しみをサポートします～

《重点課題》

- 地域包括ケアシステムにおける歯科の役割を果たし、在宅歯科診療をひろげます。
- 医科歯科介護連携を深めICTを利用し口腔ケアの技術向上に努めます。
- 安心安全な治療を提供し安定した経営を行います。
- 「10の基本ケア」を意識した歯科を目指し接遇の向上に努めます。
- 働きやすい職場 (魅力的な職場)づくりに努めます。

居宅介護支援事業所

《理念》ふれ愛 ささえ愛 みとめ愛 とともに生きる

《重点課題》

- 環境変化に対応し、事業所を大規模化とすることで、継続的に安定した事業運営を行い、利用者増をはかります。
- 利用者の尊厳を護り、自立した生活が送れるように、『生協10の基本ケア』を実践します。
- 最期までその人らしく自宅で生活が送れるよう、介護と医療の一体的な連携で、在宅生活の限界点を高めます。

地域包括支援センター

《理念》地域でともに支え合い、ともに生きる

《重点課題》

- 介護予防や生きがいづくりのために住民や多様な主体が関わって地域の資源が整備・維持でき活用されるような取り組みを行います。
- 多面的支援の充実と地域住民による支え合い、地域資源、公的支援をコーディネートし、切れ目のない支援に取り組みます。
- 地域包括として『10の基本ケア』を意識して「自分らしく豊かに地域の中で生きる」を目指します。
- 認知症になっても住み慣れた地域の中で尊厳を大切に自分らしく暮らし続けることが出来るよう、認知症予防と早期発見・早期対応を目指し、共生社会に向けて取り組みます。

訪問看護ステーション

《理念》住み慣れた地域でその人らしく最期まで過ごせるように、安心・安全・こころあたたまる看護を提供します

《重点課題》

- 感染症や非常災害の発生時においても必要なサービスの提供が継続できる体制を構築するための業務継続計画を実践していきます。
- 地域密着型サービスとの連携強化、ACPの浸透を図り最期まで在宅で過ごせるように利用者様のニーズに応じた質の高い訪問看護、リハビリテーションを提供していきます。
- 生協10の基本ケアをサービスに取り込み、医療と介護の両面からサポートし多職種連携に努めます。
- ICTの活用による情報発信の強化、業務の効率化を目指すとともに法人内・外も含めた介護・医療の連携を推進することで、利用者様とその家族様の安心できる在宅生活を支援します。

看護小規模多機能

《理 念》 住み慣れた地域でその人らしく過ごせることができるよう医療と介護の両面をサポートします

《重点課題》

- 近隣の医療機関と連携し地域住民と交流を図り、利用者様の尊厳を保持し能力に応じ自立した日常生活を営むことを目的に、10の基本ケアを導入・実施するため看護・介護で協働します。
- 感染症や非常災害の発生時において業務継続計画に基づき実践し、定期的に見直しを行います。
- ICTの活用による情報発信の強化、業務の効率化を目指し、多職種連携を確立することで利用者様が最期まで安心できる在宅生活を支援します。

定期巡回・随時対応サービス、ヘルパーステーション

《理 念》 安心を提供し「その人らしい暮らし」をささえます

《重点課題》

- 「生協10の基本ケア」を実践し、利用者様が自立した日常生活が送れるように支援します。
- 利用者様のニーズに寄り添い、地域社会との連携を大切にしながら豊かで充実した生活を実現します。
- 職場のコミュニケーションを大切にし、働きやすく、やりがいのある職場にします。

リハビリテーション部門

《理 念》 一人ひとりによりそい 可能性を共に考え その人らしい毎日を支えます

《重点課題》

- 共に学び合い、介護・医療の幅広いフィールドで活躍する専門職を目指します。
- 患者様・利用者様の思いに寄り添い、地域を支えるリハビリテーションを提供します。
- 業務の効率化を意識し、安定した経営に貢献します。

通所リハビリテーション

《理 念》 一人ひとりを大切に その人らしさをサポートします

《重点課題》

- 関連事業所との連携を大切に、新規利用者の獲得や現利用者に寄り添ったサービスの提案を行うことで、安定した黒字経営を目指します。
- 提供している運動内容の見直しや、職員のスキルアップを図り、洗練されたリハビリテーションを実践します。
- 支えあい、共に成長し、明るく躍動感ある職場を作ります。

デイサービス

《理 念》人が出会い「笑い」が生まれる

《重点課題》

- 生協10の基本ケアの学びを深め、その人らしい生活が続けられるケアを提供することで、選ばれる事業所づくりを進めます。
- 事業所の強みが伝わる営業活動を行い、必要利益を確保した健全な事業運営を行います。
- 法人の教育プログラムに沿って、チームケアが実践できる職員を育成します。
- LIFEのフィードバックを活用し、根拠に基づいた介護を提供します。

小規模多機能ホーム

《理 念》一人ひとりに寄り添う 地域に寄り添う

《重点課題》

- 生協10の基本ケアを合言葉に利用者の自立と在宅を支援します。
- 認知症対応力を向上させ介護サービスの質の向上に努めます。

グループホームめが

《理 念》思いやりの心で、ひとりひとりの「生きる」を支えます

《重点課題》

- 利用者の尊厳を守りその人らしい暮らしができるよう認知症ケアの実践をします。
- 毎日が健康に気持ちよく過ごせるように支援します。
- 地域と共に支え合える関係づくりを目指します。

福祉用具レンタル

《理 念》個性ある住みよい暮らしの演出をお手伝いします

《重点課題》

- 利用者様のニーズに応えられるアセスメント、商品知識の向上、福祉用具の提案をします。
- 10の基本ケアを意識し、自立支援を促し、重度化しないように環境整備、適切な福祉用具の選定をします。
- ICTを活用し業務の効率化 生産性の向上を図ります。

生協本部

《理 念》一人ひとりに、正確・迅速・思いやりのあるサービスを提供します

《重点課題》

- 人財を確保・育成し、事業の発展に貢献します。
- 職員の離職防止、定着率アップをはかり、“安心して働ける事業所づくり”に貢献します。
- 人事評価制度の構築を推進します。
- 利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減をはかり、生産性が向上する取り組みをします。

- ICT（情報通信技術）を活用し、法人の情報共有・発信・連携を強化します。
- 健康づくり、認知症見守りサポート、助け合い、つながりを重視した地域活動をひろげ、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。